

国民生活を豊かにするデータ利活用の事例

提言「データ利活用推進のための環境整備を求める」
～Society5.0の実現に向けて～
付属資料

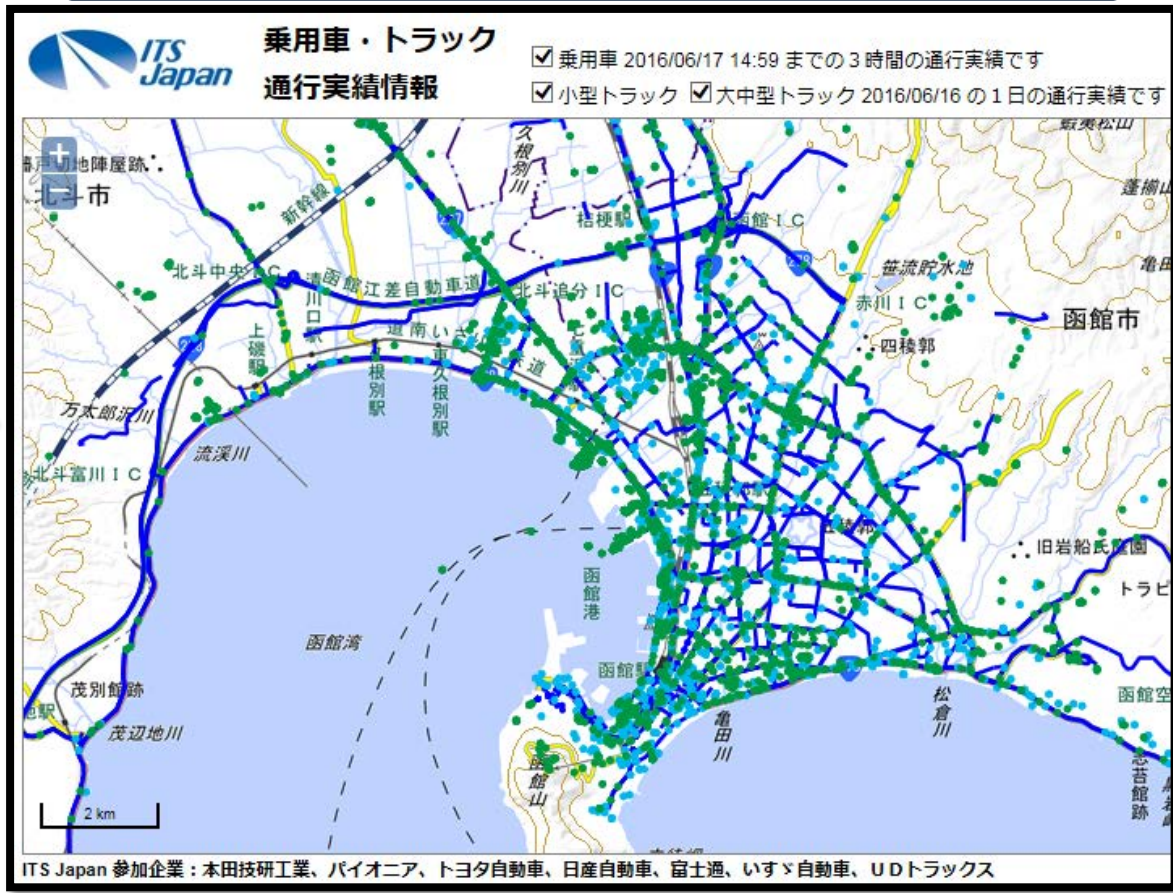
2016年7月19日公表
一般社団法人 日本経済団体連合会

災害時の通行実績データ共有による支援活動の充実

概要: 災害の発生時に、乗用車・トラック等の通行実績データを集約し、公表することで、被災地における救助活動・支援活動を円滑にする。



ITS Japan 「乗用車・トラック通行実績情報」



匿名かつ統計的に作成された情報を使用。
直近約24時間の通行実績情報を1時間ごとに更新。

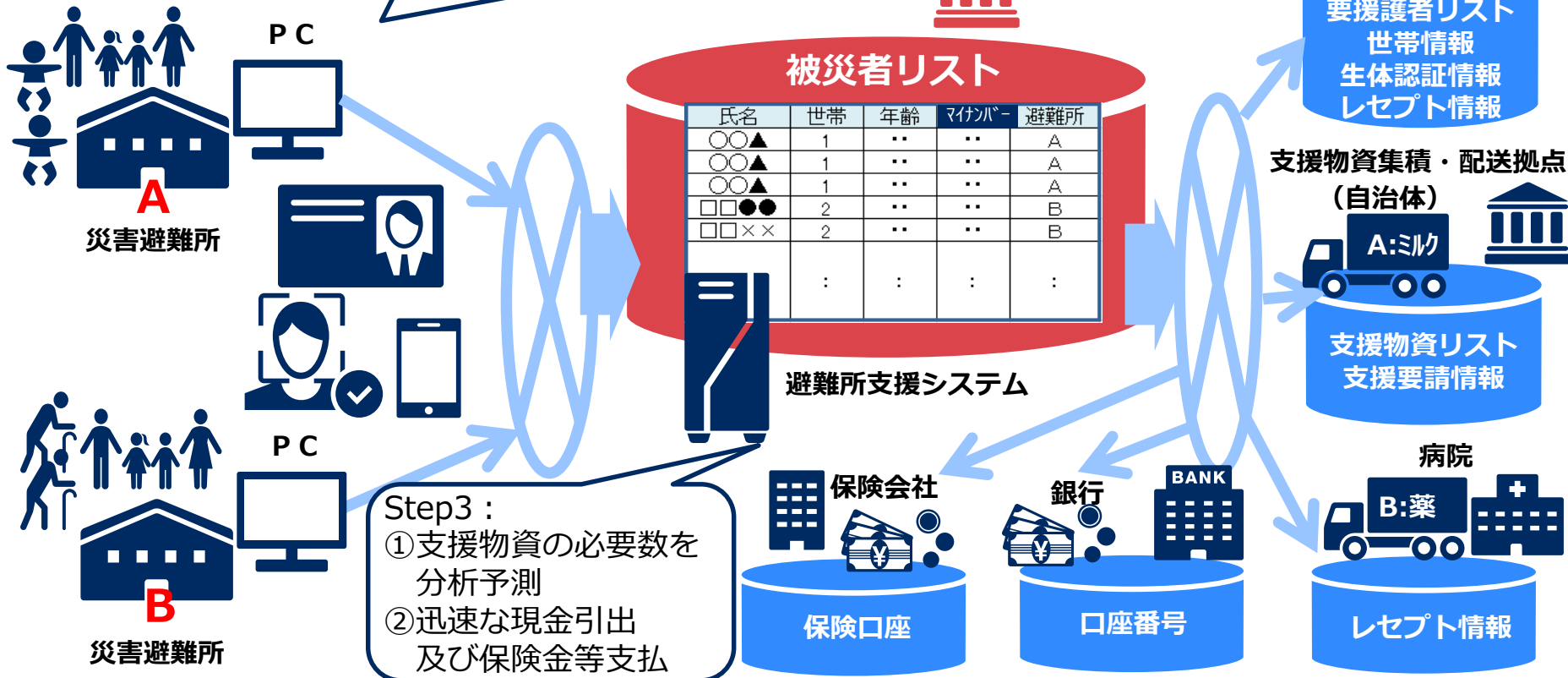
災害時の被災者データ共有による支援活動の充実

(日本電気株式会社)

概要:マイナンバーカード等のインフラを利用して迅速・確実に被災者リストを作成し、安否確認、支援物資・薬の配送、現金払出などに活用する。

Step 1: マイナンバーカードをかざし、「本人確認」→ 被災者リストを即時作成
※カードがない場合はスマホか生体認証で代用

Step 2: 避難状況をリアルタイムに確認



カメラ画像データを利用した避難誘導支援(防災・減災目的)

(日本電気株式会社)

概要: 人の密度や人の流れを解析することで群衆変化を検知し、パブリックスペースでの異常を速やかに発見する。さらに、群衆の次の行動をビッグデータ分析で予測し、混雑緩和/回避に繋がる誘導案内サインを街中に設置した電子案内板等でタイムリーに発信する。

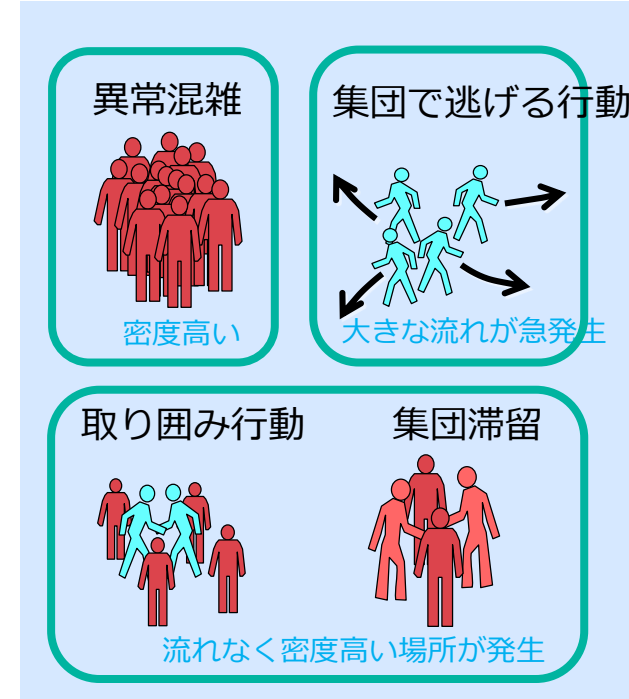
人の密度や流れを解析



①混雑状況の可視化



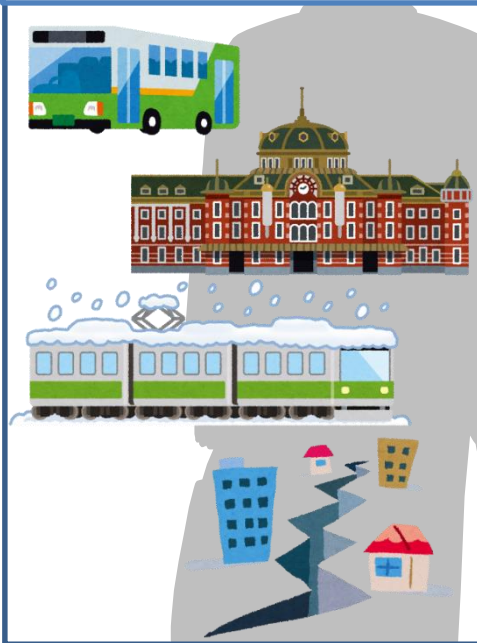
②群衆変化を検知



リアルタイム公共情報の共有による災害・事故対策

概要: 公共交通機関の運行情報やリアルタイム位置情報等を共有することで、訪日外国人等の災害・事故に対する不安・不満を解消。

- ・公共交通機関の情報
- ・災害時の航空写真 等



- ・民間企業との情報共有
- ・データの分析

BIG DATA

- ・地図アプリへの活用
- ・効率的な移送経路の導出

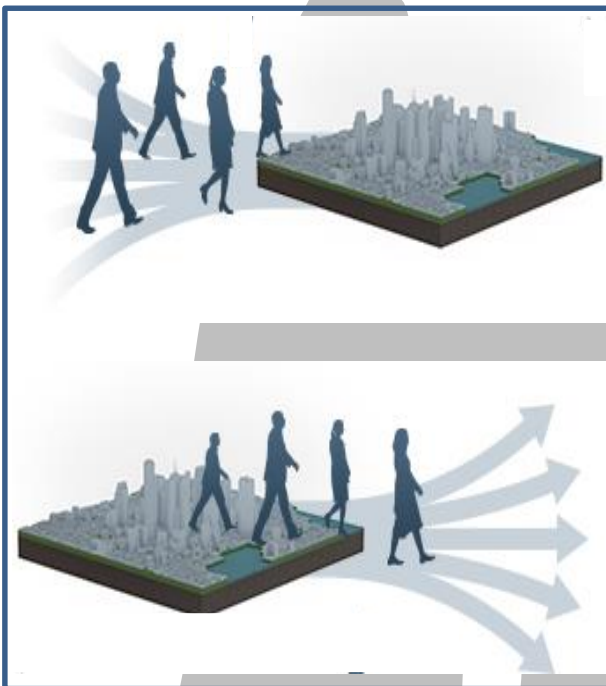
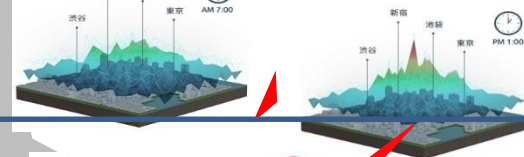


社会全体に及ぼす効果: 災害対応、インバウンド観光客増、地方活性化 等

個人に及ぼす効果: 災害・事故時の安心、最適帰宅経路の確認 等

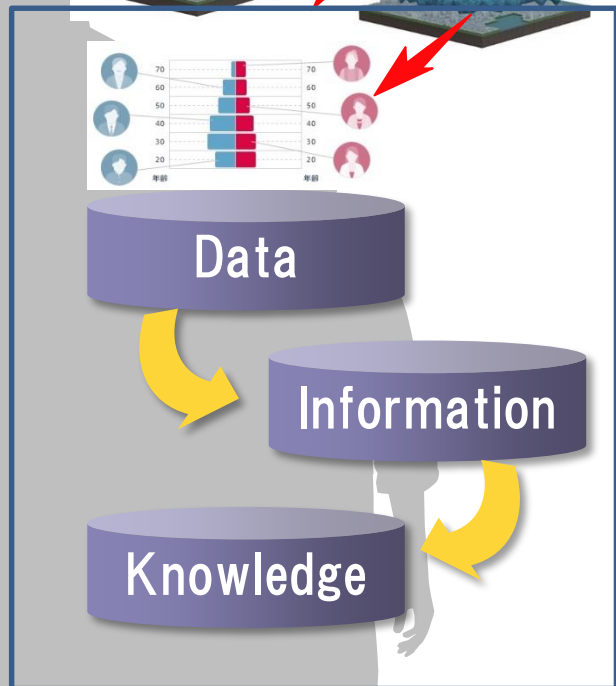
個人の動態動向を「まちづくり・観光促進」等に活用する

概要：個人の様々な動態動向を統計情報として収集し、そのデータの分析結果をまちづくり・観光促進等に活かす。



時間帯毎の人口分布
性別・年代構成
居住地域構成
外国人構成 等

年齢・性別に応じたイベント
等の施策検討、
市街地整備計画の検討 等



社会全体に及ぼす効果：「防災計画」「地域活性化」「まちづくり」の高度化

個人に及ぼす効果：居住地区の利便性等の向上による満足感増 等

医療・介護情報等の双方向連携による地域医療サービスの高度化

(日本ユニシス株式会社)

概要: 個々人の医療・介護情報等を地域の参加機関(病院、診療所、薬局、介護施設等)で連携・利活用することで、より適切な診察や服薬指導等、切れ目のない地域包括ケアシステムを提供する。



住民に対する安心・安全の提供

【医療機関】

初診や救急搬送の患者でも他の医療機関での治療状況を把握できる。

介護施設からの情報をもとに在宅患者や介護職への適切な助言、医療介入の判断を行うことができる。

【薬局】

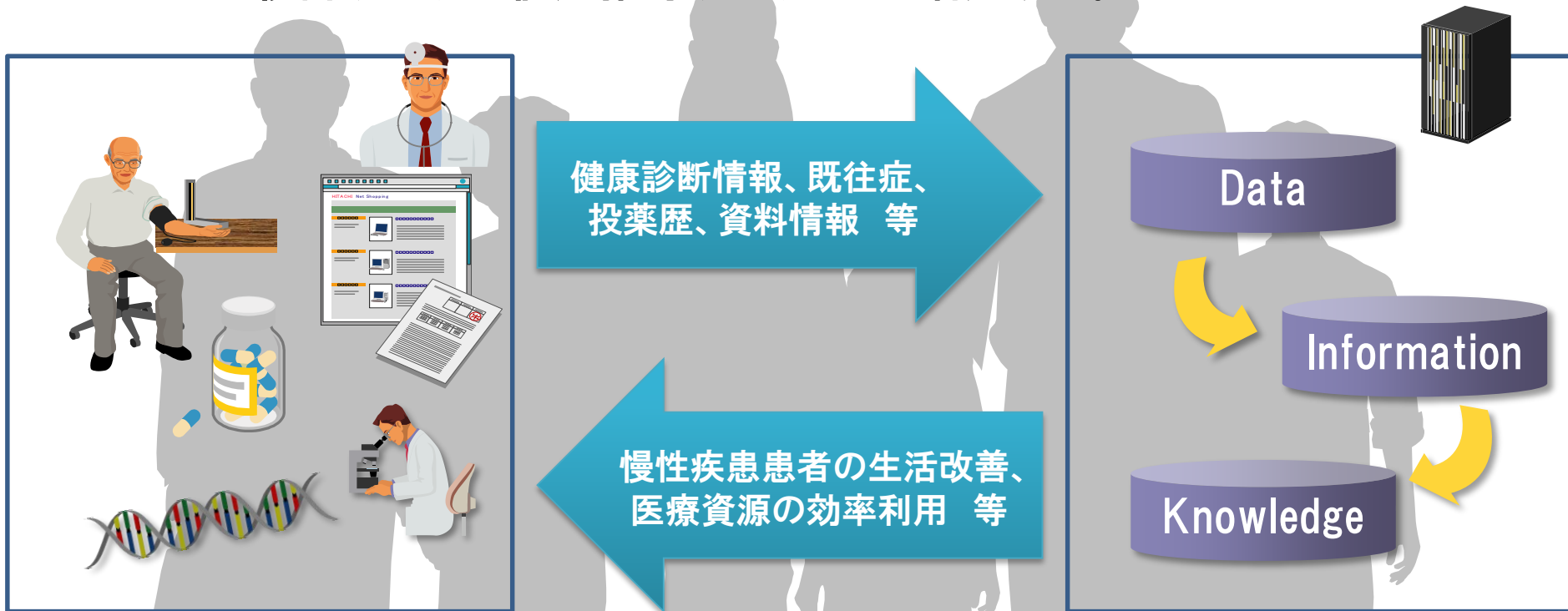
院外処方箋にない病名を把握し、より確実な服薬指導ができる。

【介護施設】

診察結果や処方内容をもとに適切な介助や服薬管理を行うことができる。

ヘルスケア情報の統計活用と個人指導

概要: 個々人の、健康管理・医療・介護関連情報を関連機関で共有し、統計データや個別指導データとして活用する。

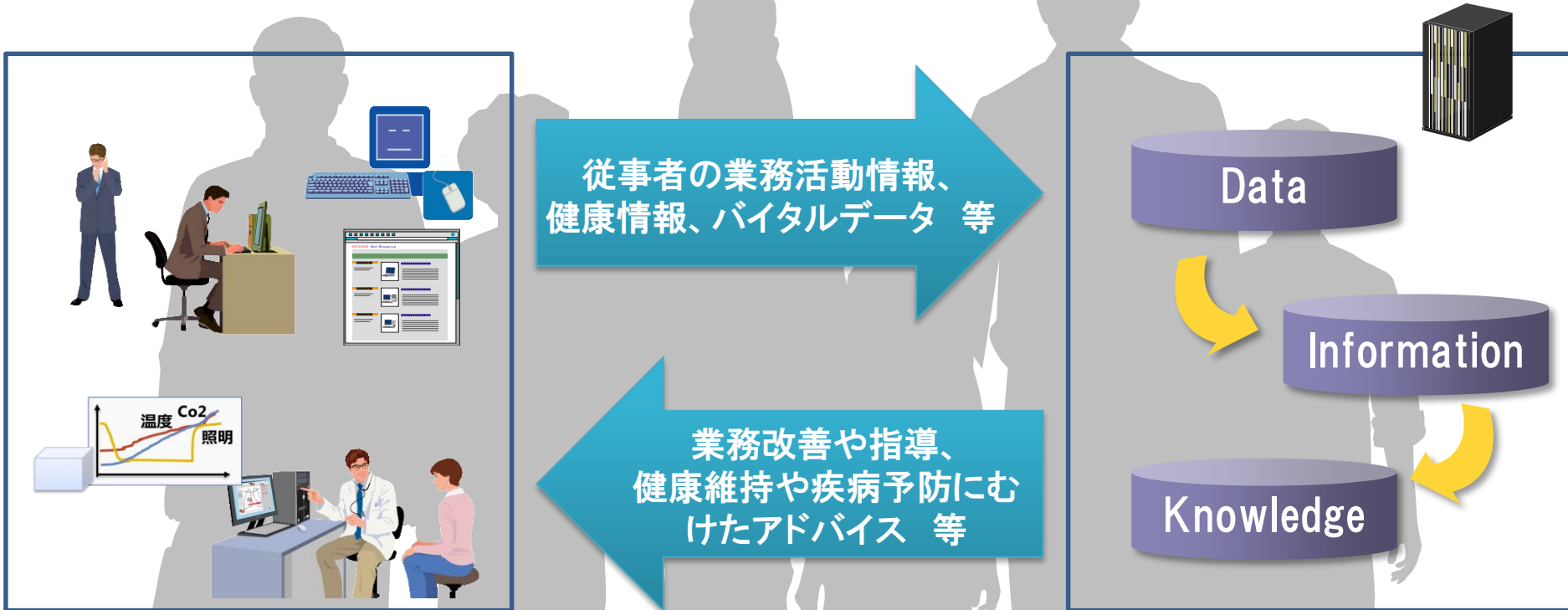


社会全体に及ぼす効果: 社会保障費の抑制、生産・消費等経済活性化

個人に及ぼす効果: 健康寿命延伸、自己実現・経済活動の継続 等

業務従事者のウェルネス情報の統計活用と業務改善利用

概要: 様々な業務従事者の活動状況や健康情報を統計データとして共有することで、より客観的な業界の業務改善や個別指導データに活用する。



社会全体に及ぼす効果: 一億総活力化推進、疾患予防による医療費削減

個人に及ぼす効果: 生活満足度向上、自己実現・経済活動の継続 等

室内環境データを活用し、高齢者の健康と安全を見守る

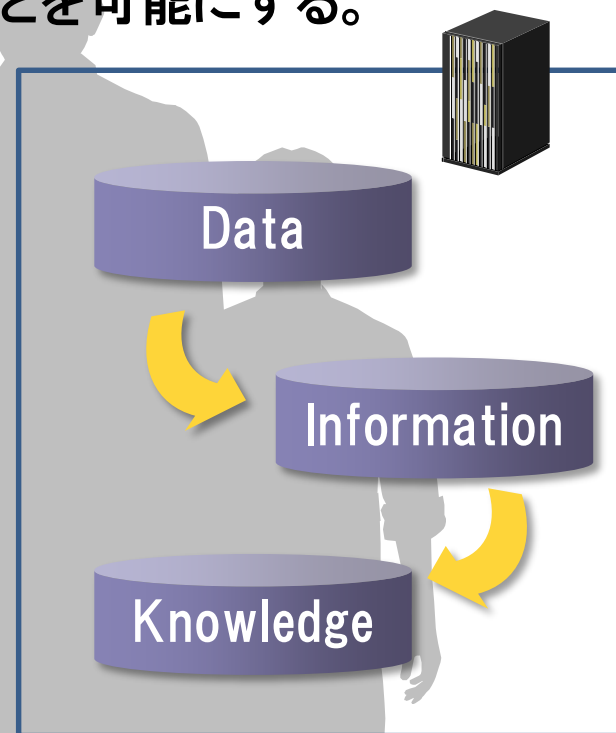
(ニフティ株式会社)

概要:室内環境データ(温度、湿度、照度)をクラウドで収集し、高齢者自身が気がつきにくい室内環境の異常を察知することを可能にする。



室内環境データ
(室温、湿度、照度) 等

室内環境の悪化通知、
エアコンの遠隔操作、生活
リズムの異変通知 等



社会全体に及ぼす効果:社会保障費抑制、医療費削減等

個人に及ぼす効果:健康寿命延伸、介護予防等

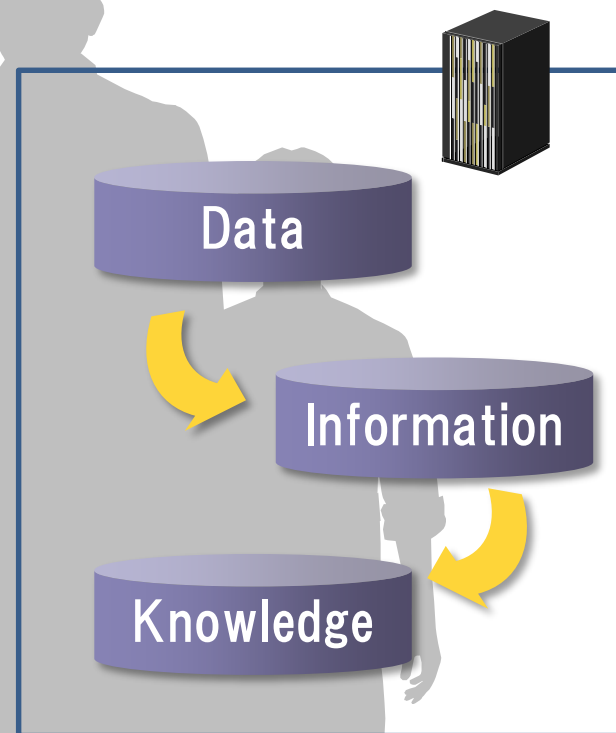
生命保険契約における健康診断情報等の継続的な活用

概要：生命保険契約において、加入時の診査だけでなく、健康診断情報やヘルスケア情報を継続的に蓄積し統計活用することで、保険料の低減とともに加入者の健康維持に役立てる。



健康診断情報、
ヘルスケアデータ 等

生命保険料率への反映、
健康維持のためのアドバイス、
契約付帯サービスの提供 等

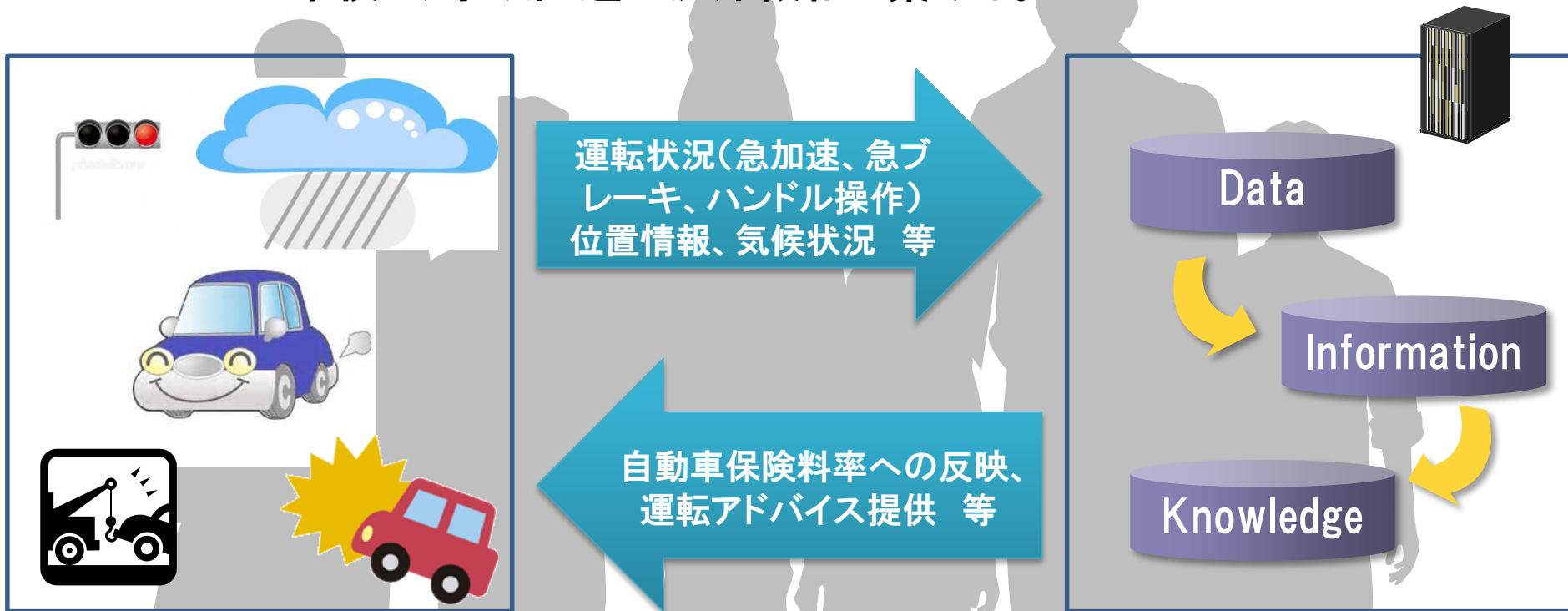


社会全体に及ぼす効果： 疾患予防による医療費削減 等

個人に及ぼす効果： 健康維持、保険料低減 等

ドライビング情報の統計活用と自動車保険料率への反映

概要: 個々人の、運転状況(急加速、急ブレーキ、ハンドル操作)を集積し、事故回避や渋滞緩和に繋げる。



社会全体に及ぼす効果: 事故に繋がる道路状況の把握、渋滞の緩和

個人に及ぼす効果: 自動車保険料の還元、事故率の低下 等

電気自動車(EV)のバッテリー関連情報分析

概要: 米国および日本のEVから、バッテリー性能評価に関連する各種情報を収集。その分析結果をバッテリーの性能やサービス向上に活かす。



車両データおよび、容量、
温度、電流値などのバッテ
リー情報

高性能のバッテリー、将来
的なサービス向上等



フィールド側の効果: EVおよびサービスの向上

サービス側の効果: 技術開発・製品改良に向けた情報の獲得

建設機械のリモート監視（日立建機株式会社）

概要：世界中で稼働する建設機械の稼働情報等を収集。その分析結果を現場での生産性向上や、運用・製品改良に生かす。



フィールド側の効果：生産性向上、メンテナンス・トラブル対応コスト減

サービス側の効果：技術・製品改良、各種ノウハウ獲得、マーケティング

大型船舶の効率的な保守

概要:世界中を航行する大型船舶の、船内機器からのセンサーデータを収集。
故障の未然防止や効率的な保守を実現。

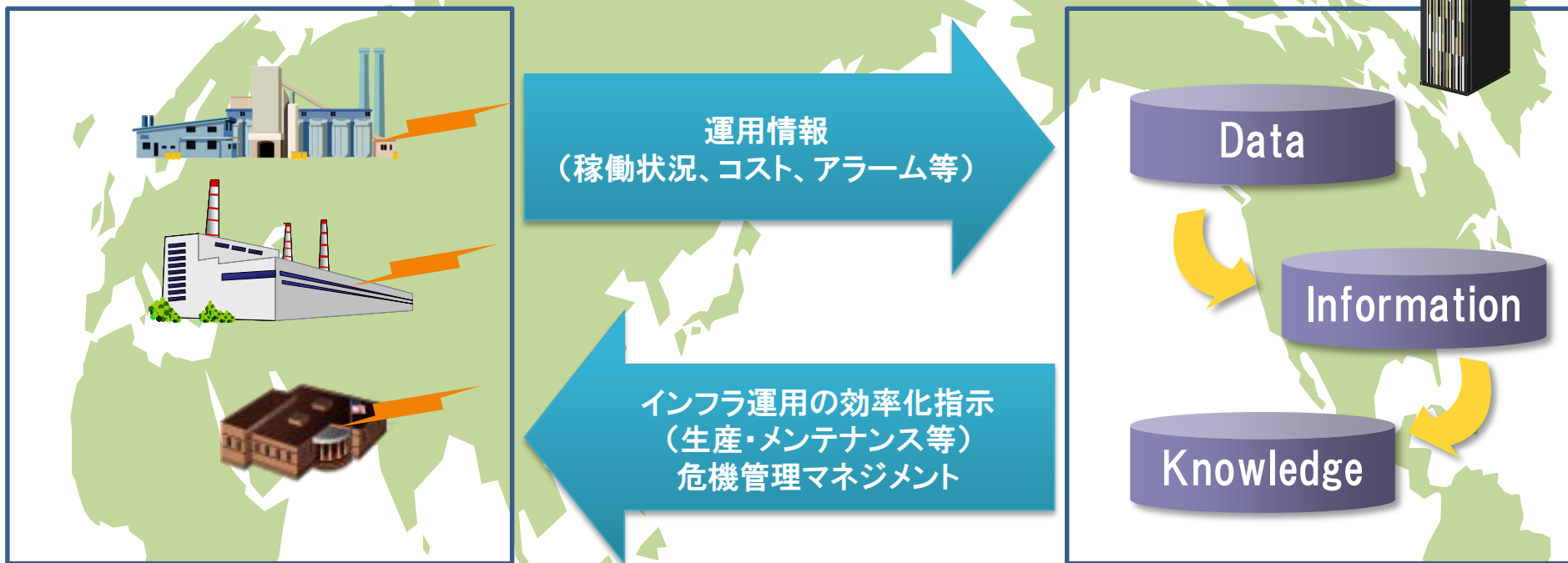


フィールド側の効果:船舶の安全な運行と保守費用低減

サービス側の効果:最高品質の船級サービスの提供

プラント等国外拠点とのオペレーションとメンテナンス

概要：国外複数箇所に広域化するプラント等拠点の運用データ(稼働状況、コスト、アラーム等)を一元的に収集。データ分析を通じて得られたノウハウを、各拠点の運用効率化(生産、メンテナンス、投資等の最適化)、プロアクティブな危機管理に利用。



フィールド側の効果：生産性改善、災害等へのコンティンジェンシー立案

サービス側の効果：一元的データ分析・管理による運用ノウハウの蓄積、各拠点の運用最適化

食品冷凍装置のリモート監視

概要：食品冷凍装置の稼働情報等を収集し、予防保全、機器ブラックボックスへのアクセス検知を行い、顧客サービス向上と、技術情報漏洩を抑止する。



稼働時間、庫内温度、エラー情報、ブラックボックス領域へのアクセス情報等

運用／メンテナンスアドバイス、事前修理、故障原因特定迅速化等



データ管理
(クラウド)



監視・分析



メンテナンス



ユーザー
サポート

フィールド側の効果：ダウンタイムの削減、障害対応コスト削減

サービス側の効果：技術・製品改良、新たな収益源獲得、技術情報防衛

高付加価値日本産品食材の海外展開

概要：“素材・食材”の良さを維持可能な特殊冷凍技術の活用とICTによる“安全・安心”の担保、“ブランディング”による高付加価値日本食の海外展開



販売・在庫管理



物流・温度管理



レシピ共有・食材活用

販売情報、在庫情報、物流
品質情報、レシピ・食材活
用情報

原材料情報、加工情報、
物流品質情報、ブランディ
ング情報等



原材料供給



加工食品
生産・供給



マーケティング
情報配信
(ソーシャル
メディア活用)

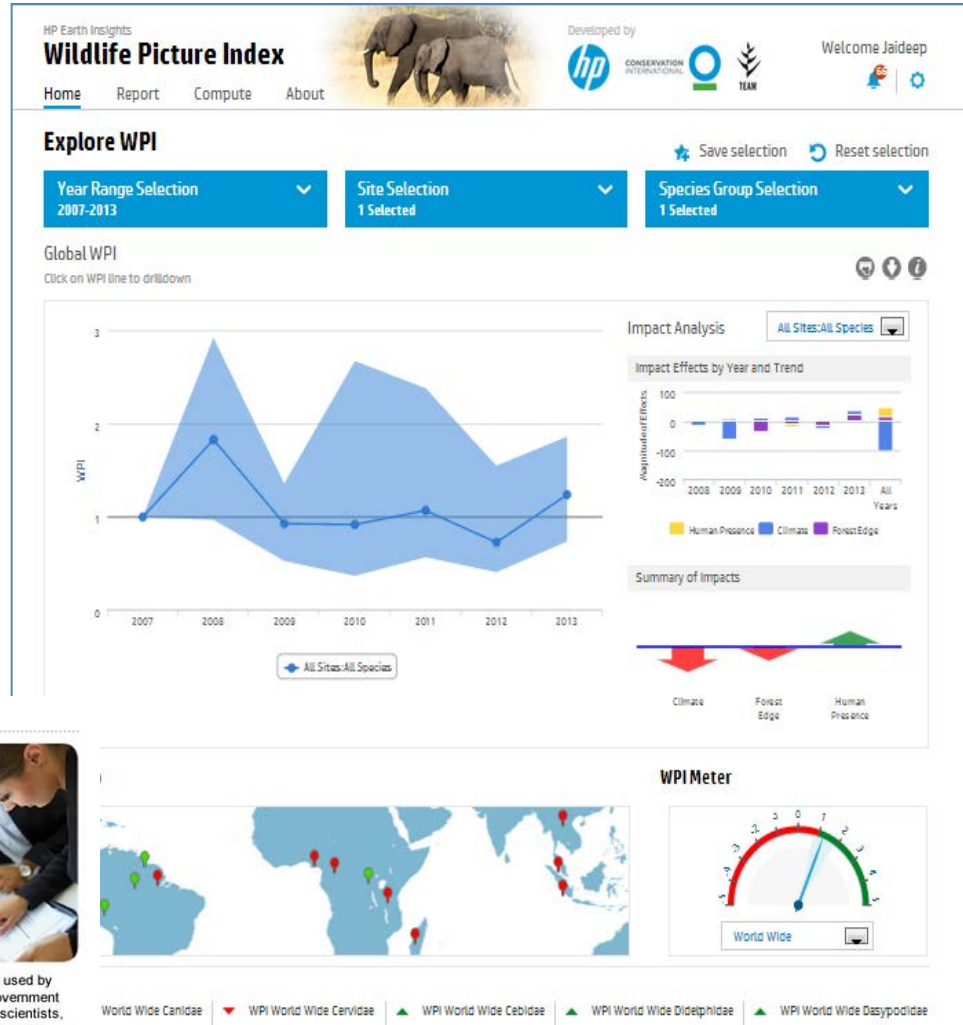
フィールド側の効果：高品質・高付加価値食材の安定調達、安全・安心担保

サービス側の効果：輸出拡大、高価格帯販売、マーケットインでの食材提供

地球環境問題への対応には、国際協力と世界をカバーするビックデータの分析が必須です。

HP Earth Insights

－ 世界の野生動物と環境をモニターし、分析・アラートシステムを構築 －



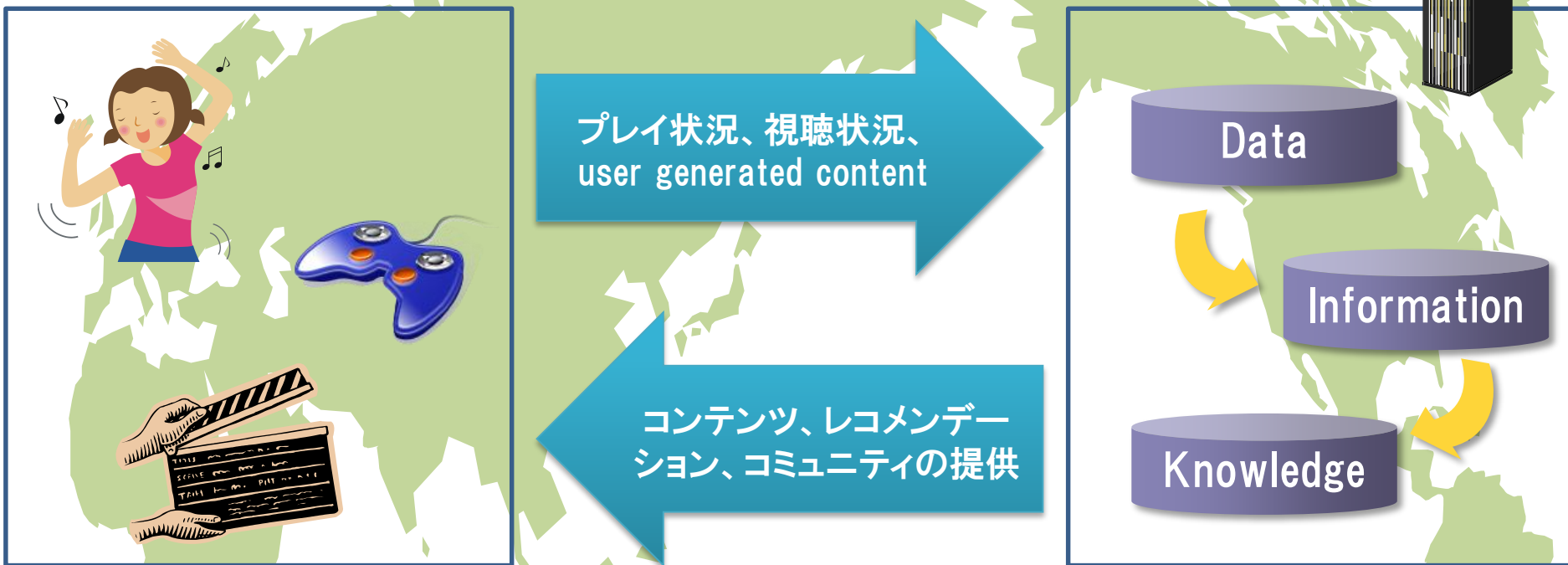
How TEAM Works



出典：経団連・在日米国商工会議所「日米IED民間作業部会共同声明」（2014年9月16日）付属資料

エンターテインメント・プラットフォーム

概要: ユーザーの好みを学習し、一人ひとりに合った感動体験を提供。

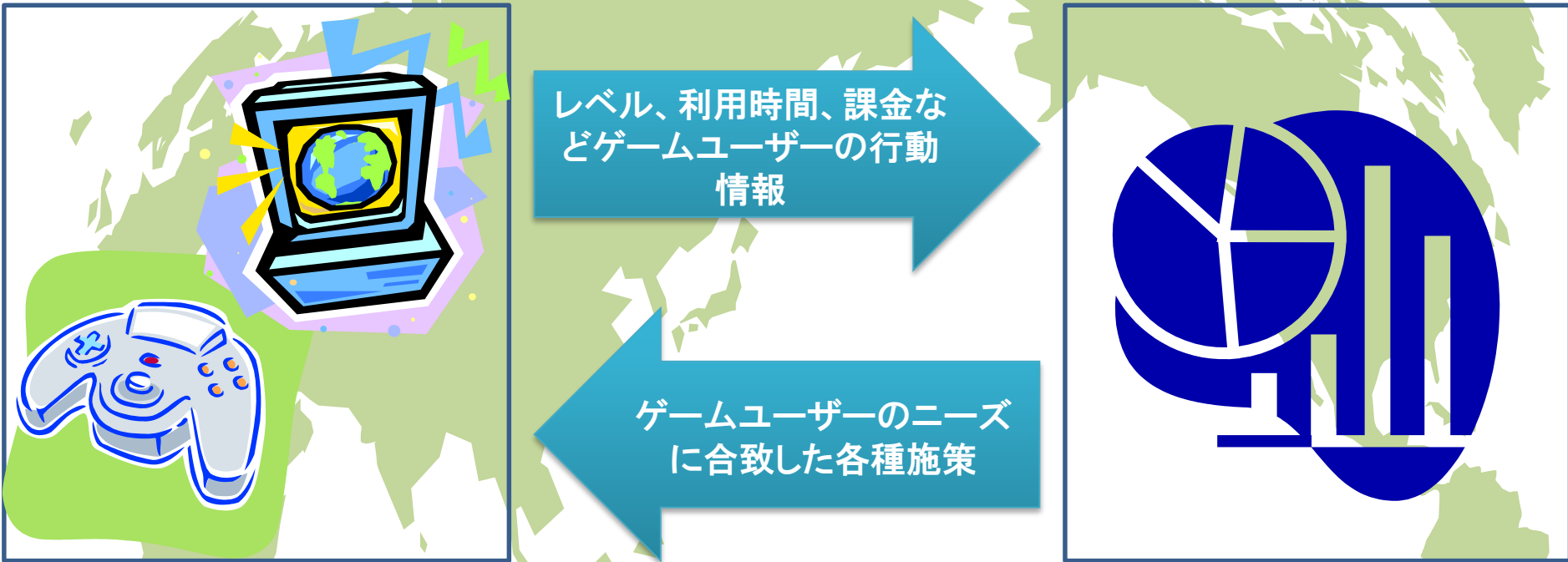


フィールド側の効果: 感動体験、情報発信、フレンドとの交流

サービス側の効果: テレンドの把握、新サービスの創造、マーケティング

ゲームユーザーの行動分析

概要: ソーシャルゲームのユーザー行動を分析。その結果に基づき、
短期間で有効な施策を実行。



フィールド側の効果: より自身の嗜好に合致したゲームや施策

サービス側の効果: 分析作業の効率向上。売上増大。